

科目名	SCH101: 人間学 II				担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	水1限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による資料の掲出、および学生によるリアクションペーパーや課題の提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①事前課題の提出（26%）、②授業毎のリアクションペーパー（14%）、③中間課題（1,200字以上の小レポート）（25%）、④期末課題（2,000字以上のレポート）（35%）
評価基準	① 事前課題の提出：課題となる準備学修を行い、成果物を提出する。 ② リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できる。 ③ 中間課題：教科書の前半（第5章まで）を踏まえ、宗教の意味に関する作者の意見を要約した上で、それに対する自分の意見をわかりやすく展開する。 ④ 期末課題：教科書の後半（第6章以降）を踏まえ、自分にとって切実な人生への問いを提起した上で、キリスト教がその問いにいかなる答えを与えてくれるかについての作者の意見を要約し、それに対する自分の意見をわかりやすく展開する。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：キリスト教と日本文化	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.13-18 を読んでおく。
2	宗教とは何か	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.19-32 をていねいに読み、要約を提出する。
3	「無」としての神	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.33-46 をていねいに読み、要約を提出する。
4	絶えざる創造	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.47-61 をていねいに読み、要約を提出する。
5	三位一体論とイエスの神アッパ	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.62-72 をていねいに読み、要約を提出する。
6	日本におけるイエスの顔 (1) 福音書のたとえ話	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.73-82 をていねいに読み、要約を提出する。
7	日本におけるイエスの顔 (2) 遠藤周作の『沈黙』	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.82-92 をていねいに読み、要約を提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	キリスト教と文化	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.93-102 をていねいに読み、要約を提出する。
9	救いの出来事としての復活	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	中間レポート提出。 教科書 pp.103-119 をていねいに読み、要約を提出する。
10	日本文化の底を流れるもの（1） 絶対無の思想	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.120-140 をていねいに読み、要約を提出する。
11	日本文化の底を流れるもの（2） キリストのからだ	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.141-150 をていねいに読み、要約を提出する。
12	信仰とは何か	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.151-160 をていねいに読み、要約を提出する。
13	神・イエスのアガペー（悲愛）について	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.161-168 をていねいに読み、要約を提出する。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	祈り	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	教科書 pp.169-184 をていねいに読み、要約を提出する。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	分からないことがあれば、遠慮なく質問して欲しい。
-------------	--------------------------

科目名	SCH101: 人間学 II (S)				担当教員	アルン・デソーザ
開講期	秋	開講時限	月3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Team participation / presentations (30%), Reaction Papers (20%), Reflection Paper (20%), Semester Assignment (30%)
評価基準	Team participation/presentations: each student's participation contributes to building team learning. Reaction Papers: students express their understanding and analysis on topics discussed in the class. Reflection Papers: students submit analytically and systematically written paper on the content discussed in the workshop. Semester Assignment: students theoretically and academically write a paper on a particular theme.

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction: Me, society and God	Lecture, discussion	Course Orientations Reaction paper 1
2	Who am I? My Identity	Lecture, discussion	Philosophical texts (1)
3	Who is my neighbor?	Lecture, discussion	<i>Laudato Si'</i> Chapter 1
4	<i>Laudato Si'</i> Chapter 1: What is Happening to Our common home?	Lecture, discussion, Team study	<i>Laudato Si'</i> Chapter 2 Reaction paper 2
5	<i>Laudato Si'</i> Chapter 2: The Gospel of Creation	Lecture, discussion, Team Presentation	<i>Laudato Si'</i> Chapter 3 Theological Texts (1)
6	<i>Laudato Si'</i> Chapter 3: The Human roots of the Ecological crisis	Lecture, discussion, Team Presentation	<i>Laudato Si'</i> Chapter 4 Reaction paper 3
7	<i>Laudato Si'</i> Chapter 4: Integral Ecology	Lecture, discussion, Team Presentation	Preparation for workshop. Reflection paper
8	Workshop: My Role in the Society	Lecture, discussion, Team study	<i>Laudato Si'</i> Chapter 5
9	<i>Laudato Si'</i> Chapter 5: Line of Approach and Action	Lecture, discussion, Team Presentation	<i>Laudato Si'</i> Chapter 6 Reaction paper 4
10	<i>Laudato Si'</i> Chapter 6: Ecological Education and Spirituality	Lecture, discussion, Team Presentation	Philosophical Texts (2)
11	Who is God? For me?	Lecture, discussion, Team study	"Where the Hell Is God?" (1) Theological Texts (2)
12	"Where the Hell Is God?" (Part 1: Complex Questions)	Lecture, discussion	"Where the Hell Is God?" (2) Reaction paper 5

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	“Where the Hell Is God?” (Part 2: Possible Answers)	Lecture, discussion, Team study	Preparing to summarize; course review
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Concluding remarks, discussions	Lecture, discussion, Team study	course review; Assignments

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	TOEIC score: 400 or above
-------------	---------------------------

科目名	PHL203: 哲学 A				担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	火 4 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による資料の掲出、および学生によるリアクションペーパーや課題の提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業毎の課題（20%）、授業毎のリアクションペーパー（14%）、中間レポート（2,000 字以上）（30%）、定期試験（36%）
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ・ リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ・ 中間レポート：プラトン『アルキビアデス』について哲学的問いを提起し、その問いがどのように議論されているかを、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 ・ 定期試験：定期試験期間中に実施する。内容は以下の通り。いずれも持ち込み不可。36% <ul style="list-style-type: none"> (i) 選択式の問題を課す。教科書及び授業内容の理解が正しいかどうか。16% (ii) 700～800 字の小論文を作成してもらう。哲学的な問いを一つ提起し、その問いについて自分の力で考えたことを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。20%

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	世界の始原への問い タレスの「水」	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	教科書①pp.1-14 をていねいに読んでおく。
2	世界の現れに潜む謎 ヘラクレイトスの「火」	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.15-28 をていねいに読み、要約を提出。
3	自己を形成する知の意味 ソクラテスの「無知の知」	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.58-76 をていねいに読み、要約を提出。
4	存在と知の根拠への問い プラトンの「アイデア」	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.77-96 をていねいに読み、要約を提出。
5	プラトン『アルキビアデス』講読第 1 回 青年の自意識と野望についての吟味	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.10-29 をていねいに読んでおく。
6	プラトン『アルキビアデス』講読第 2 回 知っていると思うことについての検討	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.30-46 についてポイントを整理し、提出。
7	プラトン『アルキビアデス』講読第 3 回 正義と利益の関係への問い	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.47-63 についてポイントを整理し、提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	プラトン『アルキビアデス』講読第 4 回 政治家に必要な条件: 心がけと知恵	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.64-82 についてポイントを整理し、提出。
9	プラトン『アルキビアデス』講読第 5 回 自分への配慮と自己自身を知ること	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.82-101 についてポイントを整理し、提出。
10	プラトン『アルキビアデス』講読第 6 回 心身関係と魂の自己認識への問い	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.101-119 についてポイントを整理し、提出。
11	生成変化をめぐる謎 アリストテレスの「可能態・現実態」	講義・絵本朗読ディスカッション・リアペ	中間レポート提出。教科書①pp.97-108 を読んでおく。
12	自由と習慣 アリストテレスの「エートス」	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.108-116 をていねいに読み、要約を提出。
13	ストア派の倫理と「アパテイア」 中間レポートに対するコメント	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.117-132 をていねいに読み、要約を提出。
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	ヘレニズムとヘブライズムの交流へ 定期試験に対するコメント	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.165-184 をていねいに読んでおく。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	分からないことがあれば、遠慮なく質問して欲しい。
-------------	--------------------------

科目名	PHL204: 哲学 B				担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	金 4 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による資料の掲出、および学生によるリアクションペーパーや課題の提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業毎の課題（20%）、授業毎のリアクションペーパー（14%）、中間レポート（2,000 字以上）（30%）、定期試験（36%）
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 中間レポート：ライプニッツ『モノドロジー』について哲学的問いを提起し、その問いがどのように議論されているかを、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 定期試験：定期試験期間中に実施する。内容は以下の通り。いずれも持ち込み不可。36% <ul style="list-style-type: none"> (i) 選択式の問題を課す。教科書及び授業内容の理解が正しいかどうか。16% (ii) 700～800 字の小論文を作成してもらう。哲学的な問いを一つ提起し、その問いについて自分の力で考えたことを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。20%

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：近代と哲学への問い	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読んでおく。
2	私と世界はいかに関係しているか？ (1) デカルトの「コギト」	講義・絵本・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読み、要約を提出。
3	私と世界はいかに関係しているか？ (2) スピノザの「様態」	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.21-38 をていねいに読み、要約を提出。
4	私と世界はいかに関係しているか？ (3) ロックの「タブラ・ラサ」	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.39-56 をていねいに読み、要約を提出。
5	私と世界はいかに関係しているか？ (4) ライプニッツの「モノド」	講義・写真鑑賞・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.57-74 をていねいに読み、要約を提出。
6	ライプニッツ『モノドロジー』講読第 1 回 不可識別者同一の原理、多元論	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.11-19 をていねいに読んでおく。
7	ライプニッツ『モノドロジー』講読第 2 回 表象、欲求、微小表象、記憶	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.20-30 についてポイントを整理し、提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ライプニッツ『モナドロジー』講読第 3 回 理性、精神、矛盾律、充足理由律、神	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.31-39 についてポイントを整理し、提出。
9	ライプニッツ『モナドロジー』講読第 4 回 力能・認識・意志、可能世界、最善観	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.40-50 についてポイントを整理し、提出。
10	ライプニッツ『モナドロジー』講読第 5 回 宇宙の鏡、視点と眺望、髯、機械	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.51-63 についてポイントを整理し、提出。
11	ライプニッツ『モナドロジー』講読第 6 回 魂の不滅、予定調和、神の国	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書②pp.64-75 についてポイントを整理し、提出。
12	私と世界はいかに関係しているか? (5) ヒュームの「知覚の束」と「習慣」	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	中間レポート提出。教科書①pp.91-106 を読んでおく。
13	私と世界はいかに関係しているか? (6) カントの「因果性のカテゴリー」 中間レポートに対するコメント	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.123-133 をていねいに読み、要約を提出。
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	私と世界はいかに関係しているか? (7) カントの「自由」論 定期試験に対するコメント	講義・ディスカッションリアクションペーパー	教科書①pp.123-133 をもう一度読んでおく。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	分からないことがあれば、遠慮なく質問して欲しい。
-------------	--------------------------

科目名	REL201: 宗教学 A				担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	月 3 限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業で、教員の講義を中心に進める。講義の後にブレイクアウト・ルームでの学生間の話し合いや、全体会での意見交換を行うこともある。毎回、学生は準備学修を Moodle 上に、また、授業後のリアクションペーパーを Google フォームに提出する。定期試験はテキストとノートの持ち込みを許可する形で行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①事前課題 Moodle に提出 (2%×14 回=28%) ②授業のリアクションペーパー (2%×13 回=26%) ③定期 (期末) 試験における解答 (26%) と小論文 (20%)
評価基準	①準備学修として、指定された箇所のポイントを正しく理解し、まとめられること ②リアクションペーパーとして、授業で説明されたキリスト教的聖書解釈の要素を含めたコメントを、自分の言葉で表現できること ③テキストと授業内容を正しく理解していること、及び「旧約聖書の登場人物の中で最も興味を引く人物について」どのような点においてか、また、その理由を明記した形で 700～800 字の小論文を書けること

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修 (予習・復習)：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要と旧約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.10-12, 76-79 の予習、配布プリントの復習
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.34-37, 80-85 の予習、配布プリントの復習
3	創世記 2-3 章 人間の創造、禁断の実と人間の罪	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.50-51, 86-87 の予習、配布プリントの復習
4	創世記 4 章 カインとアベルの物語	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.88-89 の予習、配布プリントの復習
5	創世記 6-11 章 ノアの箱舟の物語、バベルの塔の物語	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.90-93 の予習、配布プリントの復習
6	創世記 12、15、17 章 アブラハムの召命 契約の思想	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.94-95 の予習、配布プリントの復習
7	創世記 18、21 章 信仰の試練	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.44-45, 14-17 の予習、配布プリントの復習
8	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.96-97 の予習、配布プリントの復習
9	出エジプト記 12 章 過越祭	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.98-99 の予習、配布プリントの復習
10	出エジプト記 20 章 十戒	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.100-101 の予習、配布プリントの復習
11	サムエル記上 8 章 王たちの物語、サムエル記下 11-12 章 ウリヤの妻バト・シェバ	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.102-107 の予習、配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力アモス書 預言者の社会批判	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.108-109 の予習、配布プリントの復習
13	イザヤ書 52-53 章 預言者の苦しみ	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.110-111 の予習、配布プリントの復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	エルサレムへの帰還、メシアニズムの成長 定期試験の講評	講義、意見交換、リアクションペーパー	科目のまとめ、配布プリントの復習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	REL202: 宗教学 B				担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	木3限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業で、教員の講義を中心に進める。講義の後にブレイクアウト・ルームでの学生間の話し合いや、全体会での意見交換を行うこともある。毎回、学生は準備学修を Moodle 上に、また、授業後のリアクションペーパーを Google フォームに提出する。定期試験はテキストとノートの持ち込みを許可する形で行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①Moodle に提出する事前課題 (2%×14 回=28%) ②授業のリアクションペーパー (2%×13 回=26%) ③定期 (期末) 試験における解答 (26%) と小論文 (20%)
評価基準	①準備学修として指定された箇所のポイントを正しく理解し、まとめられること ②リアクションペーパーとして、授業で説明されたキリスト教的聖書解釈の要素を含めたコメントを、自分の言葉で表現できること ③テキストと授業の内容を正しく理解していること、及び「キリスト教が説く救いは現代社会においてどのような意味を持つのか」について 700~800 字の小論文を書けること

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修 (予習・復習)：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	講義の概要 新約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.114-117 の予習、配布プリントの復習
2	新約聖書の世界 (1) ユダヤ教の宗派、神の国の宣教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.118-123 及びマタイ 20 : 1-16 の予習、
3	新約聖書の世界 (2) イエスの弟子たち、ファリサイ派と徴税人	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.124-125 及びルカ 18 : 9-14 の予習
4	イエスの宣教 (1) 奇跡物語、罪の赦し	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.126-127 及びマタイ 8 : 23-9 : 8 の予習
5	イエスの宣教 (2) 山上の説教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.128-129 及びマタイ 5 章、6 : 25-7 : 12 の予習
6	イエスの宣教 (3) 慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ話、主の祈り	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.130-131 及びルカ 15 : 1-32 の予習
7	イエスの宣教 (4) 永遠の命、隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	講義、意見交換、リアクションペーパー	マタイ 25 : 31-46、ルカ 10 : 25-37 の予習
8	イエスの受難 (1) エルサレム入城、最後の晩餐、新しい契約	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.132-135 及びマタイ 21 章、26 章の予習
9	イエスの受難 (2) 死刑判決、十字架の道行き	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.136-138 及びルカ 23 章の予習
10	イエスの受難 (3) 十字架上の死、イエスの受難と死の意味	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト p.139 及びヨハネ 19 章の予習
11	イエスの復活 (1) 復活者イエスとの出会い	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.140-141 及びマタイ 28 章、ルカ 24 章の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	イエスの復活（2） 使徒たちに受け継がれる宣教の使命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.142-143 及びヨハネ 20 章の予習
13	イエスの復活（3）パウロの召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.144-146 及び使徒言行録 8-9 章の予習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	キリスト教の広まり期末試験に対するコメント	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.148-149 の予習

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	手元に『新約聖書（新共同訳）』があることが望ましい。9月26日に健康診断のために来校する学生は「学内配布用」として置かれているところから入手して欲しい。入手が不可能な学生の場合は、初回授業日に相談する。
---------------------	---

科目名	SOC201: 社会学 A				担当教員	李 侖 姫
開 講 期	秋	開講時限	月 4 限	研 究 室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ 音声付のパワーポイントや映像配信と Moodle（授業資料の提供と課題提出およびフィードバック）を用いたオンデマンド型の授業
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	毎回、Moodle に音声付きのパワーポイントの映像資料と授業資料（穴埋めの授業資料、テキスト資料（Word, PDF））を提供する。テキスト資料と穴埋め授業資料を手元に置いて授業予定日の 1 週間前にアップロードされる音声付きの映像を視聴し、1 週間の間に自分のペースで学習を行う。その際に、穴埋め授業資料の空欄を埋めて授業当日に Moodle に提出する（課題提出に該当）。定期試験は「テイクホームエグザム（24 時間の間に試験問題に解答し、提出期限日までに提出）」を提出してもらう。毎回の課題に対する質疑応答やフィードバックは Moodle のコメント欄にて行う。その他、授業内容に関する個人的な質問と相談についてはメールでのやりとり、そして、その都度、Zoom による相談会を設けて行う予定である。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	1. 課題提出（12 回）36% 2. 定期試験（テイクホームエグザム）64%
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験（テイクホームエグザム：記述式問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的想像力	講義、課題 1 回目	毎回、配布されるテキスト資料の一読、講義資料の復習
2	理論とは何か：社会学と科学、理論、概念、命題、仮説	講義、課題 2 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
3	社会学理論：①機能理論	講義、課題 3 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
4	社会学理論：②紛争理論	講義、課題 4 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
5	社会学理論：③象徴的相互作用理論	講義、課題 5 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
6	社会学理論：④交換理論	講義、課題 6 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
7	文化：文化の特性、文化の基本的要素、文化遅滞、エスノセントリズム、下位文化	講義、課題 7 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
8	文化と経済：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	講義、課題 8 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
9	地位と役割：地位群と役割群、役割葛藤	講義、課題 9 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
10	組織：官僚制の特徴	講義、課題 10 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	ネットワーク：ネットワークとは何か、紐帯の内容と強さ、密度	講義、課題 1 1 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
12	ネットワークの構造と機能：閉鎖型と開放型ネットワーク	講義、課題 1 2 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
13	社会学のまとめ	春学期の授業内容の復習を行う	まとめの授業動画をもとに春学期に配布された全講義資料の復習
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の解説	試験問題の解説	Moodle にて試験問題のフィードバックを返す

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	授業動画で適宜、関連文献を紹介する。講義資料の内容と合わせてより詳しく学習したい場合には、参考書と合わせて、関連文献を一読することをお勧めする。
-------------	--

科目名	SOC202: 社会学 B				担当教員	李 侖 姫
開 講 期	秋	開講時限	月 5 限	研 究 室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ 音声付のパワーポイントや映像配信と Moodle（授業資料の提供と課題提出およびフィードバック）を用いたオンデマンド型の授業
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	毎回、Moodle に音声付きのパワーポイントの映像資料と授業資料（穴埋めの授業資料、テキスト資料（Word, PDF））を提供する。テキスト資料と穴埋め授業資料を手元に置いて授業予定日の 1 週間前にアップロードされる音声付きの映像を視聴し、1 週間の間に自分のペースで学習を行う。その際に、穴埋め授業資料の空欄を埋めて授業当日に Moodle に提出する（課題提出に該当）。定期試験は「テイクホームエグザム（24 時間の間に試験問題に解答し、提出期限日までに提出）」を提出してもらう。毎回の課題に対する質疑応答やフィードバックは Moodle のコメント欄にて行う。その他、授業内容に関する個人的な質問と相談についてはメールでのやりとり、そして、その都度、Zoom による相談会を設けて行う予定である。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	1. 課題提出（12 回）36% 2. 定期試験（テイクホームエグザム）64%
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験（テイクホームエグザム：記述式問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的視点	講義、課題 1 回目	毎回、配布されるテキスト資料の一読、講義資料の復習
2	社会化：生まれか育ちか？社会階層と社会化、社会化のエージェント	講義、課題 2 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
3	ジェンダー：性とジェンダー、ジェンダー役割と社会化	講義、課題 3 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
4	ライフコース：個人の人生と歴史的出来事、社会構造との関係	講義、課題 4 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
5	文化と消費：準拠集団と消費、地位と消費	講義、課題 5 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
6	逸脱：デュルケム、マーソンのアノミー概念、ラベリング理論	講義、課題 6 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
7	宗教：宗教の定義、基本要素、宗教と社会秩序、宗教と近代化	講義、課題 7 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
8	社会変動：古典理論（マルクス、ウェーバー、デュルケム）と現代の理論	講義、課題 8 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
9	社会調査法 1：調査過程とサーベイ法	講義、課題 9 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
10	社会調査法 2：実験法	講義、課題 10 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	社会調査法 3：観察法	講義、課題 11 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
12	社会調査法 4：文書分析法	講義、課題 12 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
13	社会学のまとめ	春学期の授業内容の復習を行う	講義資料の復習、テキスト資料の一読
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の解説	社会学講義内容のまとめと試験問題の解説	Moodle にて試験問題のフィードバックを返す

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	授業動画で適宜、関連文献を紹介する。講義資料の内容と合わせてより詳しく学習したい場合には、参考書と合わせて、関連文献を一読することをお勧めする。
-------------	--

科目名	LAW212: 日本国憲法 B				担当教員	牧 耕太郎
開講期	秋	開講時限	木 5 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いて、リアルタイムでの教員及び学生間での質疑応答・議論を通じて授業を進めていく。授業資料は事前に Moodle へ掲載するが、Zoom でも画面共有を行い、適宜教員による板書としても用いる。課題提出も Moodle を通じて行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：問いを正確に理解した上で、これまで得た知識を使って、十分な検討を行い、論理的かつ適切な論述がなされているか。

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション：憲法とは	講義、質疑応答	日本国憲法の前文を読む。 第 2 回レジュメに取り組む。
2	民主主義と立憲主義 民主主義と立憲主義の概念を理解する。	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げて調べる。 第 3 回レジュメに取り組む。
3	人権概念と人権の制約原理 人権概念の生まれを知る。	講義、質疑応答	テキスト第 4 章を読む。 第 4 回レジュメに取り組む。
4	人権の享有主体 人権をもつ「人」とは誰なのか？	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げて調べる。 第 5 回レジュメに取り組む。
5	幸福追求権と新しい人権 人権は全部憲法に書いてあるのか？	講義、質疑応答	テキスト第 5 章を読む。 第 6 回レジュメに取り組む。
6	平等原則 「平等」の意味を知る。	講義、質疑応答	テキスト第 6 章を読んだ上で、中間レポートを仕上げる。
7	思想良心の自由 「思想」を強制するという意味を知る。	講義、質疑応答	中間レポートの誤りを正す。 第 8 回レジュメに取り組む。
8	信教の自由 国家と宗教の関係を考える。	講義、質疑応答	テキスト第 7 章を読む。 第 9 回レジュメに取り組む。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	表現の自由（1） 表現の自由はなぜ重要なのかを知る。	講義、質疑応答	テキスト第 8 章 I を読む。 第 10 回レジュメに取り組む。
10	表現の自由（2） 集会・結社・学問の価値を知る。	講義、質疑応答	テキスト第 8 章の残りを読む。 第 11 回レジュメに取り組む。
11	財産権の保障 財産を守るという意味を知る。	講義、質疑応答	テキスト第 9 章を読む。 第 12 回レジュメに取り組む。
12	職業選択の自由 職業が人権になる理由を知る。	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げて調べる。 第 13 回レジュメに取り組む。
13	社会権 国家が国民を支える理由を考える。	講義、質疑応答	テキスト第 12 章を読み、 期末レポートを仕上げる。
定期試験を実施する Final Exam will not be held			
14	期末試験の解説・講評	講義、質疑応答	テキスト・レジュメを見返す。

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	本講義は、質疑応答を基礎として展開する予定であるので、受講生の積極的な授業参加が望まれる。憲法の法文の参照方法等については初回に説明する。
-------------	---

科目名	LAW202: 法学 B				担当教員	牧 耕太郎
開 講 期	秋	開講時限	木 3 限	研 究 室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いて、リアルタイムでの教員及び学生間での質疑応答・議論を通じて授業を進めていく。授業資料は事前に Moodle へ掲載するが、Zoom でも画面共有を行い、適宜教員による板書としても用いる。課題提出も Moodle を通じて行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：問いを正確に理解した上で、これまで得た知識を使って、十分な検討を行い、論理的で適切な論述がなされているか。

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 六法の読み方	講義、質疑応答	六法を引く。 第 2 回レジュメに取り組む。
2	法の分類 法律違反はすべてが犯罪なのか？	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 3 回レジュメに取り組む。
3	法の解釈 キリンは馬といえるか？	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 4 回レジュメに取り組む。
4	裁判手続法 (1) 裁判の当事者と裁判所	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 5 回レジュメに取り組む。
5	裁判手続法 (2) 裁判の意味と裁判の流れ	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 6 回レジュメに取り組む。
6	民法 (1) 民法総論 民法学習のイロハ	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 7 回レジュメに取り組む。
7	民法 (2) 契約 モノを売る・買うということ	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げて、中間レポートを仕上げる。
8	民法 (3) 不法行為 もし事故に遭ったら	講義、質疑応答	中間レポートの誤りを正す。 第 9 回レジュメに取り組む。
9	民法 (4) 家族法 法は家庭に入らず？	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 10 回レジュメに取り組む。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	刑法（1）刑法総論Ⅰ 犯罪の基本的な成立要件	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 11 回レジュメに取り組む。
11	刑法（2）刑法総論Ⅱ 過失・未遂・共犯	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 12 回レジュメに取り組む。
12	刑法（3）刑法各論 犯罪の個別的な成立要件	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 13 回レジュメに取り組む。
13	行政法 行政と法の関係	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げて、期末レポートを仕上げる。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末レポートの解説・講評	講義、質疑応答	配布レジュメ等を読み直す。

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	本講義では、質疑応答を基礎として展開する予定であるので、受講生の積極的な授業参加が望まれる。なお、毎回六法を引くので、毎回必ず持参・参照すること。
-------------	---

科目名	EDU201: 教育学 A				担当教員	青木 由紀子
開講期	秋	開講時限	火 2 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスワ ー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ 主に、音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業であるが、Zoom を用いたリアルタイム型の授業を行う回もある。
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	講義は、主に音声付のパワーポイントの映像を用いたオンデマンド型で配信するが、特に後半のグループ・ディスカッションの際など、必要に応じて、Zoom を用いたリアルタイム型で進め、全体、及びブレイクアウト・ルームでの学生間の議論等を行う。 受講者は、毎回の授業の後に、ミニレポートを Moodle 上で提出する。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①授業時に課すミニレポート（40%）、②授業内試験（25%）、③期末レポート（35%）
評価基準	① ミニレポート：授業内容を自分の言葉で要約し、論題について論理的に考察し、自分の問題意識を深めているか。 ② 授業内試験：授業の知識内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ③ 期末レポート：自ら問題設定をし、参考文献の内容を生かしながら、教育学的観点から論理的に論述できているか。

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	本講義の目的と概要、アカデミックスキルズ、問いの立て方、深め方について	講義、ミニレポートの作成	テキストの目次の一読、講義ノートの見直し
2	よい教育とは何か	講義、ミニレポートの作成	第 1 章の一読、講義ノートの見直し
3	教育と発達	講義、ミニレポートの作成	第 3 章 2 節の一読、講義ノートの見直し
4	教育と社会	講義、ミニレポートの作成	第 2 章の一読、講義ノートの見直し
5	子ども観・教育観の変遷	講義、ミニレポートの作成	第 3 章の一読、講義ノートの見直し
6	教育方法の歴史	講義、ミニレポートの作成	第 4 章の一読、講義ノートの見直し
7	近代日本の教育史	講義、ミニレポートの作成	配布資料の一読、講義ノートの見直し
8	教育を受ける権利	講義、ミニレポートの作成	第 5 章の一読、講義ノートの見直し
9	子どもの学びを支える仕組み	講義、ミニレポートの作成	第 6 章の一読、講義ノートの見直し
10	教師論	講義、ミニレポートの作成	第 9 章の一読、講義ノートの見直し
11	小括・授業内試験	講義、授業内試験	試験の準備
12	学力観の変遷と教育改革	講義、グループ・ディスカッションと発表	第 8 章の一読、講義ノートの見直し
13	子どものための学校とは	講義、グループ・ディスカッションと発表	第 7 章の一読、講義ノートの見直し

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括および試験の返却と解説	講義・質疑応答・ディスカッション	講義ノートの見直し

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	各回の授業形態（オンデマンドか Zoom によるリアルタイムか）等の確認も含め、Loyola、及び Moodle の連絡を、毎週よく確認すること。
-------------	---

科目名	EDU202: 教育学 B				担当教員	青木 由紀子	
開講期	秋	開講時限	火 3 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ 音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業と、Zoom を用いたリアルタイム型の授業を組み合わせで行う。
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	講義は、主に音声付のパワーポイントの映像を用いたオンデマンド型で配信するが、特に後半のプレゼンテーション等、必要に応じて、Zoom を用いたリアルタイム型で進め、全体、またはブレイクアウト・ルームでの学生間の議論等を行う。 毎回の授業の後に、ミニレポートを Moodle 上で提出する。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①授業時に課すミニレポート（40%）、②授業内試験（25%）、③レジュメ作成とプレゼンテーション（35%）
評価基準	① ミニレポート：論題について授業内容を踏まえ、論理的に考察し、自分のことばでまとめているか。 ② 授業内試験：授業で学んだ知識内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ③ レジュメ作成とプレゼンテーション：問題を設定し、それに即して課題を検討し、分かりやすく他者に伝える工夫をしているか。

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育学を学ぶ見取り図、教育をめぐる問いの立て方、深め方について	講義、ミニレポートの作成	テキストの目次の一読、講義ノートの見直し
2	学校の再考 ーより良い学校と教育の構想ー	講義、ディスカッション、ミニレポートの作成	7 章の一読、講義ノートの見直し
3	学力観の変遷と教育改革	講義、ミニレポートの作成	第 8 章 1 節の一読、講義ノートの見直し
4	自己ー他者ー社会との関わりにおける生き方とアイデンティティ 道徳教育、シティズンシップ教育	講義、ミニレポートの作成	第 8 章 3 節の一読、講義ノートの見直し
5	子どもをめぐる社会問題 ー情報化、教育の機会平等と格差、子どもの貧困ー	講義、ミニレポートの作成	第 2 章 4 節、第 8 章の一読、講義ノートの見直し
6	子どもを支える関わり 家庭、教師、地域社会、社会的養護 ーいじめ、不登校等の事例を参照してー	講義、ミニレポートの作成	第 9、10 章の一読、講義ノートの見直し
7	学びを支える多様な場 ー教育の接続と生涯学習ー	講義、ミニレポートの作成	第 12 章の一読、講義ノートの見直し
8	共生と教育① 特別支援教育	講義、ミニレポートの作成	第 5 章 2 節、第 10 章 2 節の一読、講義ノートの見直し
9	共生と教育② 異文化教育と外国につながる子ども	講義、ミニレポートの作成	第 5 章 3 節の一読、講義ノートの見直し
10	小括・授業内試験	講義、授業内試験	試験の準備
11	学校を問う	プレゼンテーションとフィードバック	プレゼンテーションの準備
12	現代の子どもの生きる社会と教育を問う	プレゼンテーションとフィードバック	プレゼンテーションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	多様性と共生のための教育を問う	プレゼンテーションとフィードバック	プレゼンテーションの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括および試験の返却と解説 教育・教育学をさらに深く学んでいくために	講義、前回までのプレゼンテーションで出された問いをもとにディスカッション	講義ノートの見直し

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	各回の授業形態（オンデマンドか Zoom によるリアルタイムか）等の確認も含め、Loyola、及び Moodle の連絡を、毎週よく確認すること。
---------------------	---

科目名	ECN202: 経済学 B				担当教員	孫 明超	
開講期	秋	開講時限	月 5 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー	P. 19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業で、教員の講義を中心に進める。講義日の一週間前までに、講義資料を Moodle で配布する。講義中に、講義資料は画面共有を通じて解説しながら進める。講義中の発言や質問は Zoom のチャットツールで行う。また、毎回の小テストを Google フォームに、期末レポートを Moodle に提出する。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①授業毎の小テスト：授業終了時まで提出（4×14回=56%） ②授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる（7×2回=14%） ③期末レポート：1,200～1,500字のレポート（30%）
評価基準	①授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト（選択式3～4問）を授業終了時まで提出する。 ②授業内での発言：14回の授業のうち、最大2回分の点数が取れる。 ③期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考した上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。（自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の2割以上に占める場合、0点となる）

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 国民所得の測定（1）国内総生産の測定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第8章 第1-2節）
2	国民所得の測定（1） GDPの構成要素、名目GDPと実質GDP	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第8章 第3-5節）
3	生計費の測定（1） 消費者物価指数	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第9章 第1節）
4	生計費の測定（2） インフレーション	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第9章 第2節）
5	生産と成長（1） 生産性、経済成長と公共政策	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第10章 第1-3節）
6	生産と成長（2） 失業	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第10章 付論）
7	貯蓄、投資と金融システム（1） 金融市場、貯蓄と投資	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第11章 第1-2節）
8	貯蓄、投資と金融システム（2） 貸付資金市場、貨幣システム	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第11章 第3節、付論1）
9	総需要と総供給（1） 短期の経済変動	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第1-2節）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	総需要と総供給（2） 総需要曲線と総供給曲線	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第3-4節）
11	総需要と総供給（3） 経済変動の原因	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第5節）
12	開放マクロ経済学（1） 輸出、輸入	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第13章 第1-2節）
13	開放マクロ経済学（2） 購買力平価、為替市場	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第13章 第3節）、 期末レポート提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	マクロ経済学のまとめ、期末レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	①難しい数学を使わず、マクロ経済学の入門レベルの講義を行う。②教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。
-------------	---

科目名	BUS202: 経営学 B				担当教員	杉山 章
開講期	秋	開講時限	木 5 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	<p>④主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業実施に加えて、授業を収録したビデオ動画を後日 YouTube にアップロードする。</p> <p>その他、特記事項 授業履修は PC による参加および LAN や良好な Wi-Fi などインターネット環境の確保が望ましい。</p>
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	<p>本授業は Zoom を用いたリアルタイム型の授業実施に加えて、授業を収録したビデオ動画を後日 YouTube にアップロードする。授業の復習および Wi-Fi や PC 機器の不調等の問題があっても授業ビデオを視聴しフォローすること。リアルタイム・オンライン授業では、チャットによる発言機会やブレイクアウトセッションによるグループワークなど、オンライン会議システムの特徴を活かした積極的に参加できるインタラクティブな授業を展開する。</p> <p>教員の授業資料掲出、学生の課題提出は Loyola 等を通して行う。</p>
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業内テスト：60% (1) 前半試験：30% (2) 後半試験：30% リアクションペーパー：40%
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか理解度を評価する。テスト回答は、質、量、両方とも評価する。 授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	授業概要の全体説明 リアクションペーパー	次回範囲の予習
2	組織で働く、とは何か？ 『組織と個人の関係について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
3	グローバルマネジメントと人材 『グローバル企業とは何か？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
4	グローバル人材とは？ 『グローバルに働くとは？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
5	人はなぜ働くのか？ 『モチベーション、やりがい、やる気』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	キャリア形成について 『ビジネスパーソンのあるべき姿とは』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
7	第1回～6回までのまとめ 前半試験の実施	講義、質疑応答 ペーパー試験	プリント、ノート、授業ビデオ等で授業内容を復習し学修成果を把握する
8	前半試験の振り返り これからの人材開発	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
9	人的資源管理、とは何か？ 『人材とは人財である』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
10	企業とリーダーシップ 『リーダーの在り方』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
11	ダイバーシティ 『女性活躍とイノベーション』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
12	サステナビリティについて 『SDGsの実現に向けて』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること
13	第8回～12回までのまとめ 後半試験の実施	講義、質疑応答 ペーパー試験	プリント、ノート、授業ビデオ等で授業内容を復習し学修成果を把握する
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリント、ノート、授業ビデオで授業内容を予習・復習すること

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	リアルタイム・オンライン授業は、WiFi不調などで通信に不具合が発生する可能性があるが、授業ビデオを後日アップロードするので適宜、視聴して次回の授業に備えること
---------------------	--

科目名	SWF201: 社会福祉入門 A				担当教員	栃本 一三郎
開講期	秋	開講時限	火 3 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業 それ以外に掲示版等で参考資料を示す。
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	zoom でおこなうので、双方向の質疑ができるような形で授業進行につとめる。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートとリアクションペーパー (40 点) ・ズームによる授業への積極的参加 (40 点) ・ズームによる口頭試問 (20 点)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートとリアクションペーパー：テキストや掲示版のファイル、及び、授業の内容を的確に理解し、要約できているかどうか。また、社会の問題を社会政策の視点と立場を踏まえて考えることができ、自分の意見を論理的に記述できるかどうか。 ・授業内の質疑応答、議論に積極的に参加しているかどうか。 ・ズームによる口頭試問において、授業内容と学修すべき事項について 6 割以上の回答ができるかどうか

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	社会福祉とは何か	授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書を読んでおく。
2	社会福祉の一般的理解と社会政策について	授業の中で質疑応答	教科書を読んでおく。レポート①を出す。
3	ウェルビーイングとウェルフェアの違いについて考えてみる	授業の中で質疑応答	教科書を読んでおく。レポート②を出す。
4	諸外国における障害者福祉と高齢者福祉 1	教員の出た NHK の番組を見て、議論を行う	内容を要約し何を理解したかについてレポート③を出す。
5	諸外国における高齢者福祉（認知症と身体）	教員の出た NHK の番組を見て、議論を行う	内容を要約し何を理解したかについてレポート④を出す。
6	日本における高齢者福祉について	授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書を読んでおく 掲示版等に示された資料を読んでおく。
7	日本における高齢者福祉が実際に地域でどのように行われているのか	授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	前もって、考えてくる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	日本の社会保障と世界の社会保障の比較 一般会計歳出予算と歳入予算、そして社会保障給付費について	授業での質疑。および財務省のデータ等を見ながら世界との違いを見ていくことと、基本的なデータについて繰り返し確認を授業中に行う	教科書と掲示板のファイルを読んでおく。
9	福祉資本主義の類型論についてティットマスとエスピンアンデルセン	板書を使った授業リアクションペーパー	教科書と掲示板のファイルを読んでおく。
10	日本の社会政策上の問題点を考える 税と社会保障と低所得者への配慮のある・なしについて	授業における質疑。リアクションペーパー	掲示板のファイルを読んでおく。また復習する。
11	メゾ、ミクロのレベルの福祉の問題	NHK のドラマを見ての議論	ドラマから何を考えたかを復習で考える。
12	ニュースからみる日本の介護問題	NHK の出演番組を見て、皆で何が問題かを考える。	どのような取り組みがあるのかを調べてみる。
13	社会保障と政治	NHK の『日曜討論』を見て、内容を吟味する。	レポート⑤の提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ：これからの日本の社会と我々が取り組むべき事柄について	授業でのディスカッション	レポート⑥の提出

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SWF202: 社会福祉入門 B				担当教員	寺田 誠
開講期	秋	開講時限	金 2 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業を行う。授業計画ごとのテーマに沿った講義を中心に進めていくが、やや理解が難しいと思われる事柄については学生間あるいは学生と教員の間でのディスカッション（ブレイクアウト・ルーム）を通して理解度を確認しながら進めていく。 配付資料等の掲出や下記「評価方法」にある①～③の提出は、基本的に Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①毎週の新聞の切り抜きとコメント（20%）、②授業毎のリアクションペーパー（30%）、③期末課題（2,500 字以上レポート）（50%）
評価基準	評価方法の割合に応じた合計点によって成績評価を行う。①国内外の社会福祉や社会保障、社会問題の新聞記事を切り抜いて提出かつコメント（200 字以上）を付ける。提出回数とコメントの妥当性によって 4 段階評価。②自分なりにその日（回）の学習内容やキーワードは何だったかを確認しながら記述。コメントの内容によって理解度や授業参加度を見て評価。疑問点は次の授業で解説する。③配付資料や紹介した文献をもとに自分が関心を寄せるテーマについて、講義やディスカッションで得た視点やアプローチを使いながら自分の考えをきちんと論じることができるかを判断し評価。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクションー講義の進め方、テキストの読み方	講義、ディスカッションリアクションペーパー	テキスト序章を予習
2	社会福祉とは何か①ー社会福祉と社会保障、社会福祉の基礎概念	講義、新聞切抜き提出 (以下「新聞」)	テキスト第 1 章第 1 節を予習、配付資料の復習
3	社会福祉とは何か②ー日本における社会福祉の内容と展開、歴史的連続性	講義、リアクションペーパー、新聞	テキスト第 1 章第 2 節を予習、配付資料の復習
4	社会福祉とは何か③ーソーシャルポリシー、ニーズの種類、社会福祉の資源	講義、ディスカッションリアクションペーパー、新聞	テキスト第 1 章第 3-4 節を予習、配付資料の復習
5	社会福祉とは何か④ー現金給付と現物給付、普遍主義と選別主義、シチズンシップ	講義リアクションペーパー、新聞	テキスト第 1 章第 4 節を予習、配付資料の復習
6	社会福祉の動向①ー少子高齢社会、人口減少社会、これからの人口推計	講義リアクションペーパー、新聞	テキスト第 2 章第 1 節を予習、配付資料の復習
7	社会福祉の動向②ー在宅福祉、地域福祉、地域包括ケアシステム、NPO	講義リアクションペーパー、新聞	テキスト第 2 章第 2-3 節を予習、配付資料の復習
8	社会福祉の動向③ー社会福祉 8 法改正、社会福祉の基礎構造改革、	講義、ディスカッションリアクションペーパー、新聞	テキスト第 2 章第 4-5 節を予習、配付資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	社会福祉の法と行財政①－社会福祉の法制度、社会保障、社会福祉 6 法	講義リアクションペーパー、新聞	テキスト第 3 章第 1 節を予習、配付資料の復習
10	社会福祉の法と行財政②－社会保障給付費、国民負担率、税と社会保障	講義、ディスカッションリアクションペーパー、新聞	テキスト第 3 章第 2 節を予習、配付資料の復習
11	社会福祉の供給体制①－政府部門、民間非営利部門、民間営利部門、インフォーマル部門	講義リアクションペーパー、新聞	テキスト第 4 章第 1-2 節を予習、配付資料の復習
12	社会福祉の供給体制②－供給体制の変遷と今後、公私関係、政府間関係	講義、ディスカッションリアクションペーパー、新聞	テキスト第 4 章第 3-4 節を予習、配付資料の復習
13	利用者の視点からみたサービスの利用支援－事業者の情報、第三者評価、権利擁護	講義リアクションペーパー、新聞	テキスト第 7 章を予習、配付資料の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	まとめ－新しい視点とは何か期末課題提出	講義、ディスカッションリアクションペーパー、新聞	テキスト序章を今一度復習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	JRN202: マスメディア論 A				担当教員	アルン・デソーザ
開講期	秋	開講時限	月 4 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	▶出席・Reaction Paper (30%)、▶Reflection Paper (20%) ▶授業参加 (25%)、▶期末レポート (25%)
評価基準	▶Reaction Paper：指定テーマについて、講義内容を踏まえて自分の意見を述べられているか。 ▶Reflection Paper：ワークショップの内容に関してまとめるとともに、自分の考えを深められているか。 ▶授業参加：Discussion やワークショップ等において、メディアに関する指定テーマについて積極的に議論しているか。また、それらを発展させながら、学術的に発表できているか。 ▶期末レポート：ジャーナリズム・メディアを題材にしたテーマは、論理的かつ独創的に述べられているか。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction：ジャーナリズム・メディア・コミュニケーション	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	メディアの歴史①：欧州圏	講義、Discussion	第 2 回授業内容の復習 Reaction Paper への準備
3	メディアの歴史②：米圏	講義、Discussion Reaction Paper	第 1 回～3 回授業内容の復習
4	メディアの歴史③：日本—近代	講義、Discussion	第 4 回授業内容の復習
5	メディアの歴史④：日本—現在	講義、Discussion Reaction Paper	メディアの歴史の復習 メディア理論の予習
6	メディア理論①：メディア効果論	講義、Discussion	第 6 回授業内容の復習 ワークショップ①への準備
7	メディア理論②：メディア研究、Cultural Studies	講義、 Reaction Paper	メディア理論の復習 Reflection Paper の準備
8	ワークショップ①：歴史と理論	Discussion Reflection Paper	メディアの現状への導入
9	メディアの現状①：出版、放送	講義、チーム発表 Reaction Paper	第 9 回授業内容の復習 期末レポートへの準備
10	メディアの現状②：インターネット、SNS、ニューメディア	講義、チーム発表 Discussion	第 10 回授業内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	メディアの現状③：国際コミュニケーション	講義、チーム発表 Reaction Paper	第 11 回授業内容の復習ワークショップ②への準備
12	メディアの現状④：調査報道	講義、チーム発表 Reaction Paper	第 12 回授業内容の復習ワークショップ②への準備
13	メディアの現状⑤：メディアの役割と責任	講義、Discussion	メディアの現状の復習 Reflection Paper の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ワークショップ②：まとめ、総括、期末レポート提出	Discussion Reflection Paper	ふり返りアンケート調査全体のふり返りとまとめ

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	JRN203: マスメディア論 B				担当教員	アルン・デソーザ
開講期	秋	開講時限	月 5 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	▶出席・Reaction Paper (30%)、▶Reflection Paper (20%) ▶授業参加 (25%)、▶期末レポート (25%)
評価基準	▶Reaction Paper：指定テーマについて、講義内容を踏まえて自分の意見を述べられているか。 ▶Reflection Paper：ワークショップの内容に関してまとめるとともに、自分の考えを深められているか。 ▶授業参加：Discussion やワークショップ等において、メディアに関する指定テーマについて積極的に議論しているか。また、それらを発展させながら、学術的に発表できているか。 ▶期末レポート：ジャーナリズム・メディアを題材にしたテーマは、論理的かつ独創的に述べられているか。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction	講義、 Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習 Reaction Paper への準備
2	『表現・言論の自由』	講義、Discussion	第 2 回授業内容の復習
3	メディアの発展	講義、Discussion、 Reaction Paper	第 1 回～3 回授業内容の復習 Reaction Paper への準備
4	世界・日本におけるメディア	講義、Discussion	第 4 回授業内容の復習ワーク ショップ①への準備
5	アジアにおけるメディア：東南アジア	講義、Discussion、 Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習現代メ ディアへの準備
6	現代社会とメディア	講義、Discussion、 Reaction Paper	第 6 回授業内容の復習 Reflection Paper の準備
7	ワークショップ①：現代社会とメディア	Discussion Reflection Paper	個別テーマへの準備
8	個別テーマ①：メディアと政治・経済	講義、Discussion チーム発表	第 8 回授業内容の復習期末レ ポートへの準備
9	個別テーマ②：メディアと宗教・平和	講義 Reaction Paper	第 9 回授業内容の復習期末レ ポートへの準備
10	個別テーマ③：メディアと倫理・責任	講義、チーム発表 Discussion	第 10 回授業内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	個別テーマ④：メディアと紛争・戦争	講義、チーム発表 Reaction Paper	第 11 回授業内容の復習
12	個別テーマ⑤：メディアと災害・復興	講義、チーム発表 Reaction Paper	第 12 回授業内容の復習ワークショップ②への準備
13	個別テーマ⑥：メディアと教育・養成	講義、Discussion、 Reaction Paper	第 13 回授業内容の復習 Reflection Paper の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ワークショップ②：まとめ、総括、期末レポートの提出	講義、Discussion	ふり返りアンケート調査全体のふり返りとまとめ

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	COM101: 基礎コンピューター演習				担当教員	津垣 正男	
開講期	秋	開講時限	火3限 金3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と学生による演習と発表を中心に授業を進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Loyola を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	<p>① タイピング課題（10%）：P 検の無料タイピング練習のインターネット版（ソーシャル投稿非対応）の英語入力を用いた測定を行う。評価における点数は設けず、ある基準を超えることを必須とする。測定は何度も行う。</p> <p>web サイト：http://www.pken.com/tool/typing.html</p> <p>② 演習課題（50%）：毎回の授業においてその回の理解度をはかるための演習課題を課す。また、PowerPoint を用いたプレゼンテーションも行ってもらう。</p> <p>③ レポート課題（40%）：授業を Word, Excel, PowerPoint, Html の単元に分け、各単元の最後にレポートを課す。</p>
評価基準	<p>① タイピング課題：3 分間で正打率 95%以上、文字数 390 以上を基準とする。</p> <p>② 演習課題：指示通りに提出ファイルが作成されているかどうかをみる。PowerPoint の実演においては、発表準備が十分にできているかどうかをみる。</p> <p>③ レポート課題：指示通りに作成されているかどうかをみる。</p>

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	PC (Windows) の基本操作	PC 実習, 解説	アカウントの準備
2	キーボード操作とタイピング：タイピング演習 (1)	PC 実習, 解説	前回内容の復習
3	テキストエディタによる文章作成：基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習, 解説	前回内容の復習
4	Word による文章作成：基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習, 解説	前回内容の復習
5	Word による文章作成：総合演習, タイピング演習 (2)	PC 実習, 解説	前回内容の復習
6	Excel による表計算：関数の扱い, 相対参照, 絶対参照 など	PC 実習, 解説	Word のレポート提出
7	Excel による表計算：グラフの作成・複数のシートの操作など	PC 実習, 解説	前回内容の復習
8	Excel による表計算：データベースの操作など	PC 実習, 解説	前回内容の復習
9	Excel による表計算：ピボットテーブルの操作など, タイピング演習 (3)	PC 実習, 解説	前回内容の復習
10	PowerPoint による資料の作成：基本的な操作など	PC 実習, 解説	Excel のレポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	PowerPoint による資料の作成： 総合演習，タイピング演習（4）	PC 実習，解説	前回内容の復習
12	PowerPoint による資料の作成：プレゼンテーションの実演	PC 実習，解説	発表の準備 PowerPoint のレポート提出
13	Html による Web ページの作成： Html 文章の基本構造を学ぶ	PC 実習，解説	前回内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Html による Web ページの作成：総合演習，タイピング演習（5）	PC 実習，解説	前回内容の復習 Html のレポート提出

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	MTH201: 数学 A				担当教員	津垣 正男
開講期	秋	開講時限	火 2 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ Zoom を用いたリアルタイム型と主に音声や映像はなく提示された資料を読んで課題を解くオンデマンド型の授業の組み合わせ。
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	提示された資料を読み課題を解く。教員の資料掲出、学生の課題提出は Loyola を通して行う。授業内容と課題の質問の受付を ZOOM を用いて行う（強制参加ではない）。授業内に 2 回適性検査・SPI 対策試験を行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 毎回の授業での課題：60% ② 授業内適性検査・SPI 対策試験（2 回）：40%
評価基準	① 毎回の課題の評価は「考え方が理解できているかどうか」を重視するので、途中計算と説明の記述を求める。 ② 実際の適性検査・SPI と同様の問題を用いた試験を 2 回行う。ただし、考え方の確認も行うので、途中計算と説明の記述の確認も行う。詳細は初回授業で説明する。

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	推論	演習，質疑応答	ノートの準備
2	図形の読み取り，集合	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
3	英語での問題演習：基本用語の紹介，多項式，ルートの計算	演習，質疑応答	配布プリントの予習
4	順列，組み合わせ	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
5	確率	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
6	英語での問題演習：2 次方程式，関数	演習，質疑応答	配布プリントの予習
7	第 1 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験，試験の解説	ここまでの内容の復習
8	料金の割引，損益算，分割払い，仕事算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	英語での問題演習： 図形に関する問題演習① (相似，合同等)	演習，質疑応答	配布プリントの予習
10	速さ，距離，時間	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	割合，比，代金の清算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	英語での問題演習： 図形に関する問題演習② (円, ピタゴラスの定理 等)	演習, 質疑応答	配布プリントの予習
13	整数の推測, グラフの領域, 物の流れと比率, 装置と回路	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	第 2 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験, 試験の解説	ここまでの内容の復習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	MTH202: 数学 B				担当教員	津垣 正男
開講期	秋	開講時限	金 2 限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ Zoom を用いたリアルタイム型と主に音声や映像はなく提示された資料を読んで課題を解くオンデマンド型の授業の組み合わせ.
--------	--

【授業の進め方】

授業の進め方	提示された資料を読み課題を解く. 教員の資料掲出、学生の課題提出は Loyola を通して行う. 授業内容と課題の質問の受付を ZOOM を用いて行う (強制参加ではない).
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更なし】

評価方法	① 各回のテーマに関する提出課題：60% ② レポート課題 (2 回)：40%
評価基準	① 授業の内容を的確に理解し、記述統計に関するデータの処理を正しく行えるかどうか ② 授業の内容を的確に理解し、推測統計に関するデータの処理を正しく行えるかどうか ③ 授業の内容を的確に理解し、微積分に関する計算を正しく行えるかどうか

【運営方法、教育方法：変更あり】 【準備学修 (予習・復習)：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	統計学：平均と分散微積分学：関数	演習，質疑応答	ノートの準備
2	統計学：信頼区間 (母分散が既知の場合)	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
3	微積分学：指数関数，対数関数，三角関数	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
4	統計学：信頼区間 (母分散が未知の場合)	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
5	微積分学：多項式関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
6	ここまでの内容の復習 第1回レポート	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
7	第1回レポートの解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
8	統計学：カイ 2 乗検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	微積分学：基本的な関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
10	統計学：母平均の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	統計学：対応のある平均の差の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	微積分学：基本的な関数の積分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
13	ここまでの演習 第2回レポート	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	第 2 回レポートの解説,	演習, 質疑応答	ここまでの内容の復習

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	PSY201: 心理学 A				担当教員	奥村 桃子
開講期	秋	開講時限	木 2 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による質疑応答を中心に授業を進める。教員による講義に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。教員の資料提供、学生の課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	毎回の授業参加とリアクションペーパー50%、授業内試験 2 回 40%、授業内レポート 1 回 10%
評価基準	授業参加とリアクションペーパー：授業で学習したポイントを理解し授業内容を踏まえた自らの考えを記述できているかどうか。 授業内試験：学習内容を理解しているかどうか。 レポート：授業および視聴覚教材の内容を踏まえ、自分の考えや意見をきちんと記述できているかどうか。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方 心理学概論	講義、質疑応答、リアクションペーパー	初回授業の復習と研究法についての事前学習
2	心理学の歴史	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と次回の授業準備
3	心理学の研究方法	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と認知についての事前学習
4	認知心理学 認知とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習とパーソナリティについての事前学習
5	パーソナリティ心理学 パーソナリティとは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と社会心理学についての事前学習
6	社会心理学 社会心理学とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～6 回の授業の復習（小テスト準備）
7	第 1 回授業内試験実施 解答と解説	授業内試験、リアクションペーパー	試験の見直しと臨床心理学についての事前学習
8	臨床心理学（1） 臨床心理学とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	試験見直しと心理アセスメントについての事前学習
9	臨床心理学（2） 心理アセスメント／心の病気Ⅰ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と心の病気についての事前学習
10	臨床心理学（3） 心の病気Ⅱ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障害についての事前学習
11	臨床心理学（4） 発達障害とは？Ⅰ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 8～12 回の授業の復習（小テストの準備）
12	臨床心理学（5） 発達障害とは？Ⅱ	質疑応答、視聴覚教材、レポート作成	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	第 2 回授業内試験実施 解答と解説	授業内試験、リアクションペーパー	試験の見直し、第 1～13 回の授業の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめ、質疑、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	PSY202: 心理学 B				担当教員	奥村 桃子
開講期	秋	開講時限	木 3 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による質疑応答を中心に授業を進める。教員による講義に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。教員の資料提供、学生の課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更あり】

評価方法	毎回の授業参加とリアクションペーパー50%、授業内試験 2 回 30%、授業内レポート 2 回 20%
評価基準	授業内容を踏まえた自らの考えをリアクションペーパーに記述できているかを評価対象とします。また、授業内試験では学習したポイントや心理学用語を正確に理解し、適切に記述できるかどうかを評価します。授業内レポートでは授業および視聴覚教材の内容を踏まえ、自分の考えや意見をきちんと記述できているかどうかを評価します。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学とは？	講義、リアクションペーパー	初回授業の復習と遺伝要素／環境要素どちらが強く影響しているか考える
2	発達の可塑性 遺伝と環境	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習とピアジェ／エリクソンについて事前学習
3	発達モデル ピアジェとエリクソン	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と胎児／新生児についての事前学習
4	認知発達の基盤 1 胎児と新生児	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と胎児／新生児について具体的にイメージしてみる
5	認知発達の基盤 2 胎児と新生児の実態	質疑応答、視聴覚教材、レポート作成	前回の授業復習と乳児についての事前学習
6	認知発達の基盤 3 乳児期	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と幼児についての事前学習
7	認知発達の基盤 4 幼児期	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と幼児について具体的にイメージしてみる
8	認知発達の基盤 5 幼児期の実態	質疑応答、視聴覚教材、レポート作成	第 1～7 回の授業の復習（小テスト準備）
9	第 1 回授業内試験 解答と解説	授業内試験、リアクションペーパー	試験の見直しと乳幼児の遊びについての事前学習
10	他者との関係性のはじまり 遊び	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と学校における認知能力についての事前学習
11	認知能力の生涯発達 1 学校での学習	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と成人・高齢期の認知能力について事前学習
12	認知能力の生涯発達 2 成人後・高齢期の認知能力	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 10～12 回の授業の復習（小テストの準備）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	第 2 回授業内試験 解答と解説	授業内試験、リアクションペーパー	試験の見直し、第 1 回～13 回の授業の復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	全体のまとめ、質疑、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	PED100: 体育理論（ウェルネスと身体）				担当教員	岸 秀忠	
開講期	秋	開講時限	金 4/5 限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。 教員の授業資料掲出および学生による授業中の発表資料提出は Moodle にて行う。 また、授業後のリアクションペーパーは Google フォームに提出する。 定期試験は教員が配布する授業資料とノートの持ち込みを許可する形で行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業への積極的参加：20% ②リアクションシート：20% ③中間試験：25% ④期末試験：35%
評価基準	① 授業への積極的参加 授業への出席態度、発言、ディスカッションでの積極性 ② リアクションシートの提出 毎回の授業内容を理解し、自らの考察を踏まえて記述されているか。 ③④ 中間試験および期末試験 授業内容を理解し、知識として身につけているか。また自らの考えや意見を記述できているか。また、試験は論述問題を含む記述式で実施する。 試験時には、教員が配布する授業資料とノートの持ち込みを許可する。

【運営方法、教育方法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、ウェルネスとは (授業概略の説明)	講義・ディスカッション・リアクションシート	シラバスの確認 配布資料の確認
2	健康の概念と我が国の健康づくりの施策 (日本における健康づくり施策の変遷)	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 (自筆ノートまとめ)
3	生活習慣病と健康 (生活習慣病の概要とその予防)	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 (自筆ノートまとめ)
4	食事と健康 (必要な栄養素と食習慣)	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 (自筆ノートまとめ)
5	ストレスマネジメントと健康 (ストレス障害とその予防)	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 (自筆ノートまとめ)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	身体活動と健康 （自らの身体活動の把握と必要性）	講義・ディスカッション・リアクションシート	第1～6回の授業の復習 * 中間テストの準備
7	中間試験実施 （中間試験実施とこれまでの振り返り）	授業内試験・リアクションシート	配布資料の復習 （自筆ノートまとめ）
8	身体の発育発達 （身体における諸器官の発育と発達）	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 （自筆ノートまとめ）
9	身体の構造 （骨格構造、筋肉、神経）	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 （自筆ノートまとめ）
10	体組成と健康 （体組成測定と肥満の概念）	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 （自筆ノートまとめ）
11	運動トレーニング （トレーニングの種類と方法）	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 （自筆ノートまとめ）
12	女性の身体と運動の関わり （運動における性差と性機能の関わり）	講義・ディスカッション・リアクションシート	配布資料の復習 （自筆ノートまとめ）
13	救急法 （応急処置と心肺蘇生法）	講義・ディスカッション・実技実践・リアクションシート	第7～13回の授業の復習 * 期末試験の準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	総括 （期末試験の返却と本講のまとめ）	講義・リアクションシート	全授業の振り返り

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	自らの健康に関心を持ち、日々の健康管理に努め、心身ともに万全な状態で授業に臨んでほしい。
-------------	--